

山報

高幡不動尊



「梅雨の輝き」
あじさいの部 銅賞 稲城市 栃谷 徳弘

ナラ枯れ

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純一

長らく多くの行動制限が課せられる二類感染症とされてきた新型コロナウイルスも、五月八日からは季節性インフルエンザと同等の五類へと引き下げられ、直前のゴールデンウィークには、待ちきれないとはかりに今までの我慢を解き放ち、多くの人が海外旅行や・国内旅行へと出掛けて楽しんだようです。

同様に賑わいを見せ始めた当山の境内も、この山報が皆さんの手に届くころには、一雨ごとに色づいたあじさいが、参拝者の目を楽しませてくれることでしょう。今年境内の桜が三月十五日に咲き始めましたが、他の花たちも一様に七〜十日位早いようで、例年、六月はじめ頃から咲き出すあじさいも、少し早まるのではないかと思います。全山で見ることが出来るあじさいの中で、一番早く咲きだすのは白の山あじさいです。その後、紅や青の山あじさいや額あじさい、そして西洋あじさいへと順に色づきます。

当山ではいろいろな草木を見ることが出来ますが、残念なことに頂上にあつた黒松が虫によつて枯れ、切らざるを得ない悲しい事態がおきました。そこで他の樹木にも注意を払っていたのですが、今回山内の四国八十八ヶ所の五十四・五十八・七十四・七十七・八十四番付近で、七本のナラの大木が枯れているのが判り、伐採せざるを得ない状況になっております。

幹内に巣かうカシノナガキクイムシが枯死の直接の原因ですが、もとをたどれば、私たち人間の活動によるものとされています。以前はナラの木は着炊きするマキや炭として利用され、伐採・再生・伐採を繰り返すことにより大木となることはまれでしたが、燃料としての役目を終えたナラは大木となり、そこに太い幹を好むカシノナガキクイムシが住み着き、「ナラ枯れ」の被害を生じさせているようです。また地球温暖化も原因の一つではないかと考えられています。

お不動さまの長い歴史において、その植生も徐々に変化してきました。そこで一層、草木の生育状況に気をくばり、倒木などの危険を事前に取り除き、安心してご参拝できるよう努力し、これからも参拝者の皆様方が命の洗濯が出来る境内を目指して頑張ります。

お不動さまの心——(一一一一)—— 現代の世相から(81) 廣澤隆之

インターネットは情報の宝庫だと思いがちです。最近ではコンピュータのAI技術がめざましく、大量の情報を選択しながら人間の思考のように、あるいはそれ以上に、与えられたテーマの解答をつくり出す技術も開発されています。いわゆる生成AIといわれるものです。近い未来に、この生成AIが人間に代わって仕事をすれば、多くの職業が消えてしまう可能性もあるようです。

ある国會議員が委員会での政府への質問をこの生成AIで作ってみたところ、かなり優れたものができあがったとニュースで知りました。この質問に対して答弁する政府も生成AIを使ったら、見事な答弁ができるかもしれません。そうすると国會議員の仕事はAIに任せればよくなるということになるでしょうか。

私は病氣治療のために病院に通っていますが、待ち時間が長く、ようやく診察室に呼ばれても、医師はほとんど診察をしません。ただ血液や尿の検査結果や、さらにはCTやX線撮影の画像をパソコンで見ながら、簡

単な問診をし、容態を観察するだけで、ほんの数分で終わってしまいます。待ち時間が長く、診察時間が短いことを実感します。

そこで私は夢想します。もしAIが発達すれば、血液や尿の検査など患者の大量のデータを自動的にAIに取り込ませ、CTやX線撮影の画像を処理させ、それらを過去の同じような病歴の膨大なデータと照合すれば、すぐに最良の治療方法や薬の選別や処方ができるのではないかと思います。そうしたら現在のような長時間待ち、短時間の診察ということもなくなるのではないかと夢想します。

また遺伝子レベルで患者の病氣の特徴を把握し、それに見合った治療法を探ることをAI技術を使って行うことがこれからの医療の中心になると医師から説明をうけました。私たちの想像を越えて、医学でもAI技術はめざましい応用をされているようです。この技術の進歩によって現在の医師の仕事の多くは必要なくなるでしょう。

また、外科手術などでもAI技術は画期的な開発をされている

ようです。多くの処置をロボットで行うことができるようになります。また驚くべきことに、患者の身体に触れることなく、遠隔操作で手術ができるということもテレビの特集番組で知りました。その技術を利用すれば、例えば、沖繩の離島の患者を那覇市内の大病院にヘリコプターで運び、その大病院を北海道の大学の研究室とコンピュータで結びます。すると北海道にいる外科医が、沖繩の病院の患者の画像を見ながら遠隔操作で手術を

することができるといえます。このようなことが当たり前に行われるほどにAI技術が発達し、人工衛星を使った通信技術がさら

に発達すれば、都会と過疎地との医療格差も解消され、誰もが質の良い医療サービスを享受することも夢ではなくなりそうです。このようにAI技術は私たちの社会を大きく変えることになりそうです。いや、現に変わつつあります。そしてAI技術を利用しつつも、それに取らぬれない私たちの生き方が求められるようになるでしょう。この

近未来の課題に答えるためのヒ

ントを私は将棋で思うことができます。将棋の世界は藤井聡太さんのめざましい活躍で注目されることが多くなりました。私も藤井聡太さんが気になって、インターネットを使って将棋の中継を見ることがあります。そこで面白いことに気づきました。中継画面の上のほうにAIが予測する評価が表示されます。その評価によってどちらが有利なのか私たちにも分かるようになってきます。また解説者もAIの評

価を参考にしながら次の一手を解説しています。このようにAI技術が将棋の世界には浸透しています。藤井聡太さんはこのAIによる将棋の研究に多くの時間をさいているとのことですが、まさしく彼の終盤での深い読みは驚くべきものでAIが予測する最善手とほぼ同じ駒を指します。

将棋ではすでにプロの棋士よりもAIのほうが強くなってしま

っていますので、このようにAIにもとづく将棋が常識になりました。それではAI同士で将棋をさせ、それを観戦すれば面白いですか。まったく面白くないでしょう。たしかにAIが将棋に強いとしても、私たちは人間の息づかいを感じとれるプロの将棋に感動するのです。それは相手の様子を探りながら次の一手を考える人間らしさへの共鳴です。これはコンピュータに求められない世界です。ひるがえって、医療に利用されるAIについて考えてみましょう。たしかに情報処理でAIにもとづく診察が可能であっても、あくまでも生命活動をしている人間への技術の利用です。人間の息づかい、生きたいと願う患者と、それを手助けする医師や看護師の思いが交わる場所に医療は成り立つのでしよう。コンピュータでは解析できない生命の不思議と向かい合う人間の息づかいを、この技術の発達の中でも大事にしたいものです。この生命の不思議とは、無限な生命活動である大日如来とお不動さまの世界を私たちが生きているあたりがたさです。



「弘法大師像・田公実筆・江戸時代」

廣澤隆之先生のプロフィール
●大正大学名誉教授
●浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く
厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

一、品名 錦絵「箱館大戦争之図」

奉納者

歌川芳虎作 三枚続の一枚
八王子市 (株)柴田印刷所

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和五年二月一日～四月三十日)

武蔵野市 高瀬 和博

中野区 黒澤 功記

小金井市 清水 映美子

日野市 田倉 康子

彦根市 西澤 政男

一、品名 シラン 約二〇株

奉納者

日野市 佐藤 米子



幟旗奉納者芳名

(令和五年二月一日～四月三十日)

西東京市 倭 木 桜

西東京市 千 櫻

府中市 (株)アルベロプロ

国立市 両角 時和

国立市 安部 圭子

日野市 岡村 和夫

二本 日野市 安川 武雄

相模原市 秋山 直子

相模原市 水 希

一、品名 マスク(手作り)

奉納者

国立市 佐藤 ふじ子



一、品名 お大師様の帽子

奉納者

川崎市 日下部 キミエ

青葉まつり記念法話

日時 六月十五日(木) 午後一時から

会場 大日堂(聴講無料)

講師 川崎大師平間寺教化部教務課長

館山市 高性寺御住職

寺田 信哉 先生



・演題

「お大師さまの言葉
〜私たちへの
メッセージ〜」

大施餓鬼会記念法話

日時 八月十五日(火) 午後一時から

会場 大日堂(聴講無料)

講師 智山伝法院常勤研究員

江東区 寶蓮寺副御住職

鈴木 晋雄 先生



・演題

「お大師さまの教え」



御前さまと記念撮影～お稚児の皆さん 4/28

高幡不動尊
フォトニュース



東日本大震災鎮魂慰霊の鐘 3/11



江戸消防記念会による木遣り奉納 4/28



新選組隊士慰霊法要 5/13



新曲を披露する歌手の岩崎愛子さん 4/28



大寫経会 4/27



柳亭市馬師匠の名人芸 4/28



千体地藏尊総回向法要 4/29



弘法大師ご誕生法要～遍照講の皆さん 4/26



大護摩に参加される「土方歳三」さん 5/13



4年ぶりの熱気～神輿練り 4/29



高幡不動きものクイーン 5/13



日野七福神めぐりぬりえ作品展 3/16

夏の行事案内 (六月～八月)

◇六月

- 1日(木) 30日(金) 高幡不動尊あじさいまつり
- 11日(日) フリーマーケット
- 15日(木) 青葉まつり(弘法大師・興教大師ご生誕慶祝法要)
於大日堂午後一時より

法話 講師 川崎大師平間寺教化部教務課長
高性寺 御住職 寺田信哉先生
演題 「お大師様の言葉」

～ 私たちへのメッセージ

- 15日(木) お焚き上げ (午前九時)
- 17日(土)・18日(日) 高幡写仏会 講師 牧 宥恵先生 (下段参照)

- 18日(日) ござれ市 (がらくた市) (雨天決行)

- 21日(水) 月例写経会 (午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(土) 千体地藏尊月例法要 (午後二時) 法話 山内僧侶

- 28日(水) 月例祭 (ご縁日)

◇七月

- 9日(日) フリーマーケット

- 15日(土) 孟蘭盆会法要 (午前六時)

- 16日(日) ござれ市 (がらくた市) (雨天決行)

- 21日(金) 月例写経会 (午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(月) 千体地藏尊月例法要 (午後二時) 法話 山内僧侶

- 28日(金) 月例祭 (ご縁日)

◇八月

- 5日(土) 俳句大会表彰式
- 6日(日) 短歌大会表彰式

- 15日(火) 孟蘭盆会大施餓鬼法要 (午後一時)

法話 講師 寶蓮寺副御住職 鈴木晋雄先生
演題 「お大師様の教え」

- 20日(日) ござれ市 (がらくた市) (雨天決行)

- 21日(月) 月例写経会 (午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(木) 千体地藏尊月例法要 (午後二時) 法話 山内僧侶

- 28日(月) 月例祭 (ご縁日)

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。

当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王のご加護を授り下さい。

記

日時 六月十七日(土)・十八日(日)

午後一時～午後四時(受付 正午より)

会場 宝輪閣地階ホール (両日共、牧宥恵師の作品を展示します)

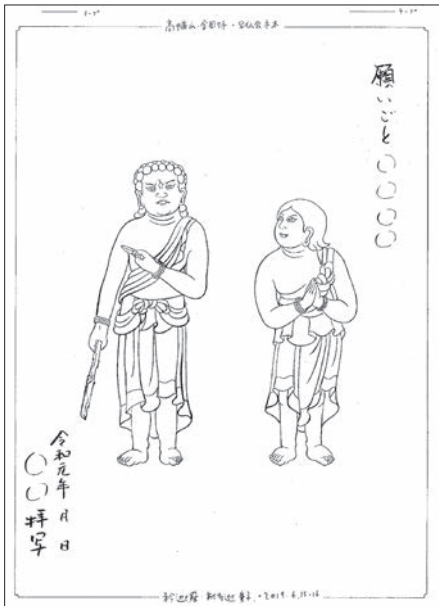
内容 午後一時 法話
午後二時 写仏

午後四時 写仏奉納大護摩修行

会費 貳千円(材料費含む)

◇お申込み・高幡不動尊事務局まで

電話 〇四二―五九一―〇〇三二



「制吒迦童子・矜羯羅童子」
牧宥恵先生ご染筆の写仏お手本

山内八十八ヶ所

巡りクイズ

多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊、三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ四季折々の花木を楽しむことができます。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに十問のクイズが出され、毎年大勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。

解答用紙は、不動堂前、五重塔無料休憩所、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。

尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。



あじさいまつり 諸行事案内 (六月一日～三十日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会……………(毎日)
- 奥殿特別寺宝屐及び鳴り龍拝観……………(毎日)
- 五重塔無料休憩所開設(百五十名収容)(午前九時～午後四時)……………(毎日)
- 茶庭拝観……………(毎日)
- 薄茶接待……………六月二十三日までの水曜・木曜・金曜及び六月二十八日
六月三日(土)・四日(日)・六月十七日(土)・十八日(日)
二十四日(土)・二十五日(日)(午前十一時～午後三時)
- 少年柔剣道奉納大会……………六月 四日(日)
- 日本拳法奉納大会……………六月十一日(日)
- リサイクル・フリーマーケット(雨天中止)……………六月十一日(日)
- 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要)……………六月十五日(木)
- 高幡写仏会……………六月十七日(土)・十八日(日)
- ござれ市(がらくた市)……………六月十八日(日)
- 月例写経会(山内僧侶法話午後一時三十分より)……………六月二十一日(水)
- 千体地藏尊月例法要……………六月二十四日(土)
- 空手奉納大会……………六月二十五日(日)
- ご縁日……………六月二十八日(水)

あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部…令和五年のあじさいまつり期間中の高幡不動尊及び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品
②四季の部……………令和四年七月以降の高幡不動尊及び門前町の四季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄・縁ナシ・ワイド可」
締 切 令和五年六月三十日(金) 必着

応募規定①期間中に撮影の自作品(未発表のもの)
②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上
④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。
尚、応募作品は原則として返却致しません。
入選発表及び表彰式は八月二十日(日) 高幡不動尊客殿洋間

あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀目作品(未発表作品に限る)
応募 一組 二句又は二首(二人何組でも可)
用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと。
入花料 投稿時納入 俳句・短歌とも一組一〇〇〇円
(但し記念大会参加料を含む)
投稿先 日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛
(〒一九一―〇〇三二)
締切 令和五年六月三十日(金) まで(当日必着)
選者(肩書等略・五十音順)
俳句 大久保白村
大竹多可志
才野 洋
笹木 弘
鳥居真里子
暮目良雨
福神規子
星野高士
矢島艶子
の諸先生
短歌 大河原惇行
狩野一男
長澤ちづ
森本 平
の諸先生
入選作は九月
末まで宝輪閣
又は五重塔々
院に掲出する



「雨あがる」
あじさいの部 銅賞 日野市 小山 乾



うずあじさい



コンペイトウ



しまなみの光



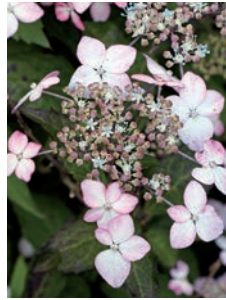
ババリア



よさこい踊り



安居の誉れ



羽衣の舞



益城花八重



沖縄コンテリギ



屋久島白香



岩見ナデシコ



九重花吹雪



月が谷テマリ



瀬戸の鶴姫



土佐のまほろば



土佐の青い鳥



土佐紺青



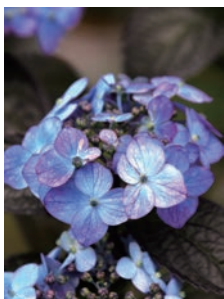
土佐美鈴



土佐遊蝶



美里紫



坊が鶴テマリ



未来



野黒緋



楊貴妃



流星光

紫陽花
不動香発売

一箱 一、五〇〇円
(六・七月限定)



◎あじさい御守授与 (1体 各700円)

あじさいまつり期間限定にて色とりどりのあじさい御守を授与しております。



ひの新選組まつり

土方歳三の命日(五月十一日)にちなみ開催される「ひの新選組まつり」は、今年二十六回目を迎え、五月十三・十四日の両日盛大に執り行われました。十三日は五重塔塔院大ホールにて新選組総回向法要、隊士コンテストが行われ、十四日は日野宿会場の甲州街道にて隊士パレードが行われました。



今年の土方歳三



今年の井上源三郎



今年の近藤勇

諸行事に参加して

大写経会 (4/27)

府中市 関根 章雄

毎年、大写経会を楽しみにしております。今年で十二巻目になると思いますが、今後も健康なかがり続けていきたいと思っております。今年で満八十七才になりました。

感謝！

川崎市 和泉 敏

初めて大写経会に参加しました。家では筆ペンを使用してましたが、これからは墨をすって筆で書いてみようと思います。

沢山の皆様がお集まりになりびっくりしました。毎月の写経にも来てみたいと思っております。

立川市 矢木 秀子

今年も、弘法大師様ご誕生一二五〇年にあたり、大写経会に参加出来ましたこと大変嬉しく思います。お天気も良くとした客殿での書写は、とて



佐々木大樹先生

記念法話 (4/27)

「お不動さまは 一ツとして清々しい気持ちです。精進料理もとても楽しみです。また是非参加したいと思えます。」

「お不動さまは

なぜお怒りなのか？」
大正大学仏教学部准教授
川崎大師教学研究所教授
智山伝法院非常勤講師
佐々木 大樹先生

相模原市 渡辺亜希子

お不動様の事が良く理解出来て良かったです。欲は全くダメなものではなく、周りの人にも力になり、支えて生きてゆくことが大事という言葉に救われ、納得しました。聴きやすく説明して下さいありがとうございます。

日野市 大嶋

今日の法話を拝聴して久しぶりに川澄貫主のお話しを思い出しました。境内でお会した時など気軽に話をされ、様々な事を教えていただき、今日の講話の様な事もわかりやすく話されてました。今日のお話しを聞いて

嬉しく思います。

東大和市 木村理恵子

幼ない時より祖母の手に引かれ、お不動さまにお参りしてきました。今また高幡不動尊にご縁があり、時々お参りさせていただいております。あの大きなお不動さまの前に立つと「ちゃんと生きていますか？」と問いかけられる気がして、自分を見つめ直しながら帰ります。

とても聞きやすいお声とわかりやすい佐々木先生のご法話が心に染みしました。心配な事も沢山抱えていますが、怒らず、穏やかに過していこうと思えました。

府中市 渡辺 京子

とても勉強になりました。子育て中で、思い通りに行かない毎日ですが、法話を聴いて怒ってばかりじゃダメだと思ひ、心穏やかに過ごしたいと思ひました。ダメな事があれば叱り、メリハリをつけて毎日を過ごしていきたいです。

相模原市 岡田 佳枝

「良い怒り」と「悪い怒り」そこに愛情があるか、ないか

稚児行列 (4/28)

江戸川区 赤木 登哉

稚児行列の再開を待ちました。なかなか良い経験をさせていただき、ありがとうございました。

日野市 眞野董・霞

衣装がとても可愛らしくて良かったです。行列や祈禱の最中もケアしていただき有難かったです。



お稚児さんに変身

池村マルクアントワン
初めての稚児体験でした。
とても良い日本滞在の思い出
になりました。

日野市 山本千帆里

子供は初めてのお化粧で、
最初は硬い表情でしたが、と
ても楽しんでいました。親子
三人で参加させていただきま
したが、良い思い出になりま
した。沢山の方にサポートし
ていただきまして、どうも有
難うございました。

調布市 鈴木 陽葵

初不動も参加させていただ
きました。とても良かったの
で今回も参加しました。説明
がわかりやすく、ゴージャス



五重塔からの景色はいかが？

な着物に、化粧も丁寧にして
くださり有難うございまし
た。

五重塔

仏彫彫刻拝観(4/28)

杉並区 鈴木 和子

子供の頃から来て知っては
いましたが、五重塔に登れる
とは思っていませんでした。
この年で登りきれたのもお大
師様と亡き母のおかげと思い
深く感謝致します。

八王子市 田中 久雄

毎年お参りに来ていますが
初めて五重塔に上がらせて
いただきました。途中、お釈
迦様の誕生から修行されてい
る姿、涅槃、悟りの世界を知
ることができ、苦もなく登る
ことができました。これから
も、このような機会があれば参
加したいと思えます。

武蔵野市 坂口喜美子

毎年伺っております。本日
は私の八十八回目の誕生日で
す。こんなに元気に上れたこ
とは心から有難く感謝致しま
す。残り人生の幸あることを
祈ります。



馬場憲一先生

立川市 片桐千代子

本当に夢のようです。長生
きしてこそ。この幸せ！立川
市錦町の自宅ベランダから毎
日眺めています。朝日がのぼ
る時、相輪が金色に輝いてい
て、今日一日と最後の幸せを
仏様に祈るひとときです。世
界の塔に登るのを趣味として
三十五年。今日の日も最高
です。登ることを許していた
だき有難うございます。

八王子市 鈴木ひろみ

五重塔の最上階まで登れる
日は年に一度と聞き、今日突
然「高幡不動」へ行きたいと
思いたち来たことも、お導き
くださっていたんだと感謝の
気持ちでいっぱいでした。自

らの足で階段を登ることがで
き「足」にも感謝。自ら感じ
ることができる自分の気持ち
(心)にも感謝。そして生か
されていることの意味を日々
味わい、身にしみながら生き
ていけるよう精進します。

立川市 福原 君枝

誕生日の記念に登りました。
心臓の手術をしたので、散歩
しながら四十分かけて家から
歩いて来ました。手遅れと言
われてから今日まで生きた証
にゆっくり参拝しました。

記念講演(4/29)

「江戸時代の高幡山金剛寺」

法政大学名誉教授

馬場 憲一先生

藤原 紀子

偶然お参りに来て参加しま
した。二十代の頃、知人から
教えてもらった高幡不動につ
いての歴史を知る事が出来ま
した。経理、財産管理など経
営の側面のお話もあり、様々
興味深かったです。

ご祈祷の種類や供養費につ
いての講演もございましたら
参加してみたいと存じます。

長い歴史の中、地域の人々
がどのように守って来たか目
浮かぶような気がします。財
政の事等、細々とした資料解
説に大変豊かな勉強をさせて頂
きました。帰宅して資料をお
さらしながら読み返します。

八王子市 鈴木 澄江

前に江戸時代の多摩川金
剛寺の絵を見た事があり、当
時はどんなだったか興味があ
りました。今日の先生のお話
しは知りたい事がわかり、と
ても良いお話でした。

東大和市 木村理恵子

高幡山金剛寺の歴史的背景
がよくわかり、とても興味深
い講演でした。また、とても
歴史の深い由緒あるお寺であ
ることを改めて知ることがで
きました。お不動様だけでは
なく他の建物ももう一度再拝
見しようと思えました。

日野市 中村代志子

高幡不動尊の歴史は今まで
知らない点が沢山あったこと
が初めてわかり、一層理解が
深まりました。教えていただ
いたことを、もう一度復習し
て精進させて頂きます。

府中市 伊東万里子

山内消息

東日本大震災慰霊の鐘

三月十一日、東日本大震災が発生した十四時四十六分に震災で亡くなられた御霊に大梵鐘を鐘いてご供養いたしました。

本年十三回忌を迎え、いまだ二五二三名の方が行方不明との事、御護摩にて震災の復興を毎座ご祈願しております。

(丸山幸記)

総本山智積院展示収蔵庫

宝物館 竣工式

真言宗智山派の宗祖弘法大師お誕生千二百五十年慶讃事業の一環として「智積院宝物館」が完成し、四月三日竣工式が執り行われ、当山貫主が参列し拝観しました。宝物館には、長谷川等伯一門による国宝障壁画「桜図」「楓図」立体的に浮き出る「雪松図」などが収蔵されています。

(佐竹智記)

花まつり勤修

四月八日、お釈迦様の誕生を祝う花まつり法要が行われました。お釈迦様が誕生したお姿の誕生仏を安置し、沢山



お釈迦様の花御堂

の花を飾り花御堂を荘厳しました。

今年の甘茶接待は四月五日から九日まで行われ、多くの方に召しあがっていただき、お釈迦様に甘茶をそそいぎ、お誕生を祝うとともに御縁を結んでいただきました。

(松本記)

遍照講智積院大会 (4/12)

総本山智積院に於いて、弘法大師お誕生千二百五十年慶讃全国奉詠大会が開催されました。大会には東京多摩教区連合会から、高尾山、高幡山、總持寺、西蓮寺各支部の講員さん達が参加し、一斉奉詠にて『弘法大師誕生和讃』などをお唱えし、お大師さまのお誕生を祝しました。翌日、鳥

獣戯画で有名な高山寺、嵯峨天皇ゆかりの大覚寺を参拝し、春の京都の旅を楽しみました。

(小澤記)

一流伝授受法

去る令和二年二月の第一会より、令和五年四月の第九会まで全九回、三宝院流報恩院方一流伝授が布施浄慧院下大阿闍梨の下開筵されました。

この一流伝授は真言宗智山派に受け継がれる三宝院流報恩院方の教え、事作法の秘奥を伝えるもので、宗祖弘法大師お誕生千二百五十年を迎えるにあたり、慶讃事業の一環として開筵されました。

当山からは、杉田貫主、黒川執事、筆者の三名が参加しました。

(直井記)

弘法大師ご誕生

千二百五十年慶讃法要

四月二十六日、十一時より大日堂に於いて、杉田貫主お導師のもと、東京多摩教区青年会、当山僧侶職衆により、弘法大師ご誕生千二百五十年慶讃二箇法要が勤修されました。当日は雨の一日でしたが、多勢の檀信徒、高幡山遍照講の皆さまとともに、弘法大師

のお誕生をお祝いしました。

(清水順記)

多摩八十八ヶ所巡拝

多摩八十八ヶ所巡りのお遍路が四月より始まりました。長く続いたコロナ禍も落ち着き四年ぶりの開催となり、又、本年はお大師様お誕生千二百五十年記念の年にも当たり多くの参加をいただきました。巡拝団の皆様は先達の先生と共に十月の結願に向け月一回の遍路をすすめます。

日曜組 山内松本盛仁先生
火曜組 安養寺石黒忠雅先生
木曜組 普門寺川澄祐英先生

(野村記)



弘法大師ご誕生1250年 慶祝二箇法要

- 5/28 五月大祭・5/30 高蔵院法要
- 副理事會・5/25 責任役員會
- 選組まつり・5/19 観光協會正
- マハヤナ総會・5/13 ひの新
- 大僧正通夜焼香・5/11 安養院
- (埼玉第三教区) 参拝団・5/12
- 眼法要・5/4 花光院神中隆祐
- 議・4/26 4/29 春季大祭国宝まつり
- 授(京都)・4/21 4/20 一流伝
- 會(本山)・4/18 4/17 一流伝
- つり法要・4/12 遍照講全国大
- 学式・七福神総會・4/8 花まつり
- 宝物館竣工式・4/6 潤徳小入
- 嵯峨野俳句大會・4/3 智積院
- もみじ灯路実行委員會・4/1 3/23/21
- 彼岸會・正御影供法要・3/20
- 3/20 新選組まつり実行委
- 防祝賀會(京プラ新宿)・3/16
- 3/9 客殿建設會議・3/16 江戸消

貫主の主な動静



「あじさい晴れ、四季の道」あじさいの部 金賞 日野市 設案 誠一

奥殿だより 第四回

初公開資料「近年之戦争」について その二

『山報』第一二〇号で、昨年四月十九日より展示した初公開資料「近年之戦争」(以下、「明治三年書写本」と略称。)を紹介致しました。が、今回は去る四月二十五日より展示を開始した初公開資料について、紹介させていただきます。

組まつりに合せて展示しました。

一九八五年度〜一九八七年度に東京都教育委員会及び日野市教育委員会が実施した聖教類の調査によってその存在が判明し、一九八八年三月に日野市教育委員会より刊行された『高幡山金剛寺典籍・聖教文書目録』にも掲載されており、しかし、今までその内容の紹介とか展示がなされたことはありませんでした。

今回初公開した史料も、明治三年書写本同様、当山第二十九世賢雅和尚が書写した「近年之戦争」写本二点で、五月十三日、十四日開催の第二十六回日野新選

組まつりに合せて展示しました。一九八五年度〜一九八七年度に東京都教育委員会及び日野市教育委員会が実施した聖教類の調査によってその存在が判明し、一九八八年三月に日野市教育委員会より刊行された『高幡山金剛寺典籍・聖教文書目録』にも掲載されており、しかし、今までその内容の紹介とか展示がなされたことはありませんでした。

一点は明治十五年(一八八二年)に書写したもので(以下、「明治十五年書写本」と略称。)、もう一点は明治十

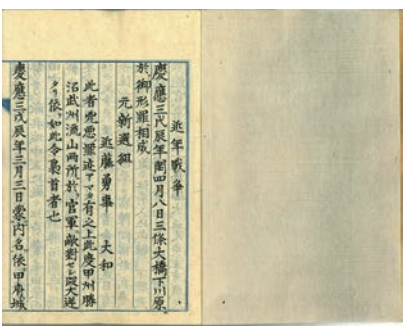
六年に書写したと思われるものです。(以下、「明治十六年書写本」と略称。)

六年に書写したと思われるものです。(以下、「明治十六年書写本」と略称。)

近接した時期に、二度書写した理由は不明ですが、これら賢雅和尚書写の三本の間には若干の相違があり、全く同じではありません。

まず表題ですが、田市洋裁があり、明治三年書写本は外題が「近年之戦争」、内題が明治十五年書写本「近來戦争之扣」、明治十五年書写本は「近年戦争」、明治十六年書写本は「近來戦争之扣」と若干差異が見られます。内容においても、漢字や表現の異なるほか、記事にも相違が若干見られます。

明治十六年書写本の明治二年五月十一日条の土方歳三戦死記事の部分に「土方歳三ニテ差図ス銃丸烈シキ故従兵諫テ歩行ス繞テ引退ク亦上馬ス英人狙撃ス銃丸腰間ヲ貫キ落馬ス坐シ天地四方ヲ見テ遂瞑」(左掲図版の赤矢印部分)とあります。



勿論その真偽は不明ですが、この「英人狙撃」の記事は他の書写本にはみられないものです。

又、最後の戒名等の記事部分に、明治十五年書写本には「歳三死骸戦ソウ中故同人本陳中央帯刀立チ埋メニス」、明治十六年書写本には「同人死骸ハ同人陳屋ノ中央ニ帯刀乍立瘞之」とあります。「本陳」は五稜郭の事でしょう。その中央に帯刀の状態、仰臥伸展葬や屈葬ではなく、立ち姿で埋めたといえます。もし五稜郭内でのそのような状態であれば、骨と刀が発掘されたならば、それは土方歳三である可能性が高いと言えましょうか。

(藤井和夫記)

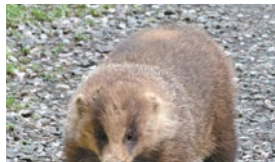
高幡いきもの曼茶羅 ②③

高幡不動尊の裏山を散策していると、時として珍しい生き物に出会うことがあります。三月の上旬、十数年ぶりにトラツグミを目撃、四月には初めてアナグマに遭遇しました。裏山では春先からナラ枯れ対策として木の伐採が行なわれていたの

で、驚いて出てきたのかも知れません。すべての生き物には名前と属性があります。好奇心の赴くままにその生き物を調べて、それが知識や経験として自分の身体に満ちてくると、私たちは自然との一体感を感じ、元気が出てきます。何故なら私たち自身が自然の一部だからです。

自然は私たちに美と時として畏怖の念を与えてくれます。自然自体を壮大な立体曼茶羅に例えるならば、意識の中の自然は心の動きとして種子曼茶羅という別のフェーズで立ち現れているように思います。

六月一日からあじさいまつりが始まります。色とりどりの紫陽花を賞でつつ裏山を散策するのは楽しいものです。その中でいろんな生き物たちとの出会いは、自然から私たちへの贈り物であり応援歌なのです。



アナグマ



トキョウサンショウウオの卵



トラツグミ

なにげなくつかっている仏教のことば―無念(むねん)

くやしいと思つことや口惜しく思うことを「無念」といい、あらゆる思慮や執着などの妄念を離れ、ものごとを分別する心のはたらきを止めること、また「無念」には心残りなことの意もあることから「残念」と同義とされ、互いの語の意味を強調して残念無念の熟語もあり

なつた無心の境地を表すことばであります。

(小林靖典)

仏教における「無念」は、

このように仏教語の「無念」は字の如くの意であるのに対し、慣用語の「無念」は、これと反対の意となっており、改めて言葉の成り立ちや変遷は、不思議であると感じます。

お不動さま教えて？

質問 五重塔地下の休憩所に掲げられているお釈迦さまのレリーフについて教えてください。

(前号のつづき)

お答え

はい、お答えします。

五重塔地下の休憩所にあるレリーフの十四枚目は《説法》です。

ついに菩提樹の下で、苦を克服し、さとりを開くという目的を達成したシ

ッタール

タは、《目

覚めた人

《真理をさ

とつた人》

という意

のブツダ

となつた

のでした。

当初、ブツダ(シッタールタ)

には「さとり」について、人々に伝えるつもりはなかったと思

われます。苦しみからの解脱を

めざして成道を果たしたことは、

あくまでも自分自身が体験した

ことであり、さとりという深遠

な境地を他に理解させることは

できないのではないかと考え

たようです。そこで、ブツダの



説法

伝記には《梵天勸請》の物語が挿入されることになりました。その物語は次のようなものです。成道を果たしたブツダは先の理由により、人々に説法することをあきらめようとしていました。そこに梵天が現れ、説法により深遠な教えを理解することができる者が必ずいるはずであり、それ故、人々のために説法すべきことを、再三要請しました。ついにブツダは梵天による勧めを受け入れ、人々に説法することを決意した、という物語です。成道の座から立ち上がったブツダは、ヴァーラーナシー郊外の鹿野苑に向い、かつて苦行を共にした五人の修行仲間に対し、初めて説法を行いました。これを初転法輪(初めて法輪を転じた)と称します。このときの説法の内容は、一説には四諦八正道であったとされています。

五重塔地下の休憩所のレリーフには、胸の前で両手の親指と人差し指で輪を作った、説法の印を結んだブツダの姿が描かれています。(次号につづく)

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』 講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、青葉まつり・大施餓鬼会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますの

記

- 一、名称 遍照講高幡山支部
一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
一、指導 密厳流遍照講師範
一、会費 一ヶ月 三、〇〇〇円
一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時
問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」
電話 〇四二一五九一〇〇三二

秋季大祭記念法話

- 日時 九月二十八日(木) 十二時三十分から
会場 客殿二階(聴講無料)
講師 真言宗智山派教学部長 大田区 圓應寺御住職



山川 弘巳 先生

・演題

「安らかなる 心をもとめて」

婦命頂礼遍照尊

宝亀の五年みなづきの

中の五日の朝ぼらけ

み空に瑞気たなびきて

生まれましけり真魚の君

「弘法大師誕生和讃」

御守等授与料

変更のお知らせ

令和五年六月一日より 御守等の授与料を変更致します。

御守三〇〇円→五〇〇円

五〇〇円→七〇〇円

詳しくは高幡不動尊公式ホームページをご覧ください。

御案内

交通安全祈願

午前九時〜午後五時 午後四時半までにお申込下さい。

〇ご祈願料 金三、〇〇〇円也

御護摩修行

〇平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

〇土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

〇但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

〇ご縁日(二十八日) 五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

〇御護摩料 金三、〇〇〇円也 金五、〇〇〇円也 金一〇、〇〇〇円也

(大護摩) 金三〇、〇〇〇円以上

ご縁日 毎月二十八日 境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止) ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ 毎月十五日午前九時 月例写経会 毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時 奥殿拝観(月曜休館) 午前九時〜午後四時 拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時〜午後四時

参拝料 二〇〇円

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

本年は弘法大師様がお生れになって1250年の年に当り、杉田貫主お導師のもと慶祝法要をお勤めしました。総本山智積院では五月十六日〜十八日の三日間 特別法要が行なわれ貫主と共に出仕してまいりました。

連休明けより五類に緩和され京都市内でも多くの外国人旅行者で大賑わいでした。

数日前、追加接案内が届いたので早速予約したところ、全数把握から定数把握に変更になり感染者数が判りにくくなりましたが、引き続き感染に気を付けながら過ごしていきたいです。

紫陽花の花の開花も早やうです。お楽しみください。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山 高幡山金剛寺

電話 (042) 591-0032代 FAX (042) 593-3038

発行人 黒川 高德 編集人

年4回発行・再生紙使用

高幡不動尊境内略地図

山内八十八ヶ所とあじさいマップ

可憐な山あじさい(6月上旬・中旬)
 あじさい、がくあじさい(6月中旬・下旬)
 彼岸花(9月中旬・下旬)

山内八十八ヶ所巡拝路
 四季のみち
 あじさいのみち



- 不動堂……毎日護摩修行・新丈六不動三尊参拝
(どなたでもご参加頂けます)
- 奥殿……日本一の不動三尊(重文)・大日如来像(平安時代中期)
ほか指定文化財・新選組資料・寺宝多数展示
- 大日堂……鳴り籠・襷絵(後藤純男作 桂林朝陽夕粧)・新選組位牌等多数展示
- 五重塔……無料休憩所・千体地藏堂参拝・釈迦三尊像参拝
- 茶室……開催日時等 詳しくはHPにてご確認ください

- 御護摩修行**
- 平日 8:00・10:00
 - 土曜/日曜/祝日
8:00・10:00・11:30
1:00・2:30・4:00
 - 但し1日、15日の午前中は
5:00・10:00・11:30
 - ご縁日(28日)
5:00・9:00・10:00・11:00
12:00・1:00・2:30・4:00
- 交通安全折願**
午前9:00～午後4:30(30分毎)
受付は各回5分前まで(お申し込み下さい。)
- 月例写経会**
毎月21日 午後1:30
- 千体地藏尊月例法要**
毎月24日 午後2:00

フリーマーケット(リサイクル市)
 毎月第2日曜日(8月はお休み)
 ござれ市(からくた市)
 毎月第3日曜日

別格本山 高幡山金剛寺 東京都日野市高幡733
 〒191-0031 電話(042)591-0032(代)
 FAX(042)593-3038



至高幡不動
 毎月28日
 歩行者天国